



## 【先週 10月6日～10月12日の外食の出来事】

### ■壺番屋、上半期(2019年3月～8月)の連結業績 増収増益 値上げ効果続く

2020年2月期 第2四半期の連結業績は売上高 256億7900万円(対前年同期比 3.5%増)、経常利益 30億9400万円(同 24.6%増)、四半期純利益 19億900万円(同 20.1%増)と増収増益を確保した。

### ■ハイディ日高、上半期(2019年3月～8月)の業績 減収減益

2020年2月期 第2四半期の業績は売上高211億200万円(対前年同期比0.0%減)、営業利益22億8000万円(同 11.0%減)、経常利益22億7400万円(同11.2%減)、四半期純利益14億8700万円(同13.1%減)であった。

### ■英国風パブ「HUB」全店9月売上、27%増 W杯開催地に関わらず増加

英国風パブ「HUB」82を展開する株式会社ハブが、2019年9月の月次速報を発表した。全店で客数 21.3%増、客単価 4.4%増で、売上高 26.6%増とラグビーW杯の効果が大きく現れた。

### ■串カツ田中、9月は販促なしで客数7.4%減

串カツ田中が、2019年9月の月次実績を発表した。既存店で客数 7.4%減、客単価 0.9%減で、売上高 6.5%減となった。19年3月から7ヶ月連続のマイナス。9月はキャンペーンを控えたことにより大きく客数を減らした。

### ■吉野家HD、最終黒字 18億円 3～8月、若年層を取り込む「超特盛」人気で

2019年3～8月期の連結決算は最終損益が 18億円の黒字(前年同期は赤字)となり、同期間として2年ぶりに黒字転換した。主因は客単価の上昇による売上高の増加だ。「超特盛」などといったメニューの改良が当たる。

### ■銚子丸、第1四半期('19年5月16日～8月15日)の業績 増収増益

2020年5月期 第1四半期の業績を発表。売上高 49億1400万円(対前年同期比 3.8%増)、営業利益 2億1900万円(同 6.9%増)、経常利益 2億3500万円(同 7.0%増)、四半期純利益 1億1700万円(同 8.9%減)であった。

### ■サイゼリヤ、海外好調で営業増益 「香港以外は絶好調」

2019年8月期の連結決算は営業利益が前の期比 11%増の 95億円だった。中国を中心としたアジアで新規出店を続けており、海外店舗の営業利益は 20%増の 43億円になった。売上高は 2%増の 1565億円だった。

### ■コメダの3～8月、純利益6%増 全国出店で客足増

2019年3～8月期の連結決算は、純利益が前年同期比 6%増の 26億円だった。過去最高。6月に青森県に進出して全国の事業体制が整い客足が伸びた。21年2月までにミャンマーとタイにコメダ珈琲店の1号店を出す。

### ■クリレスHD、純利益72%増 3～8月、コスト抑え

和食レストラン「かごの屋」などを展開するクリエイト・レストランツ・ホールディングスが 11日発表した 2019年3～8月期の連結決算は、純利益が前年同期比 72%増の 24億円だった。しゃぶしゃぶ食べ放題「しゃぶ菜」が伸びた。